

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんが保険診療を受けた際に、健康保険、国民健康保険および後期高齢者医療制度に保管される診療報酬明細書の情報を使用します

研究の内容を詳しく知りたい方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	レセプトデータベースを用いたパーキンソン病患者における治療アドヒアランスと継続率の検討
研究機関名	エーザイ株式会社
本研究を許可した者	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆
研究責任者 (個人情報管理者)	エーザイ株式会社メディカル本部 ニューロロジー部 PD 領域グループ長 石田 貴之
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日
対象	2020 年 12 月から 2021 年 11 月に全国の医療機関を受診された方のうちパーキンソン病と診断され、新たにパーキンソン病の治療薬を処方された患者さん
利用する試料・情報等	(利用する情報) 性別、年齢、傷病名、診療年月、診療行為、治療状況 等
研究の概要	処方されたお薬を医師の指示通りに服用・使用すること（アドヒアランス）は、治療効果を正しく判定したり、安全にお薬を使用したりするために必要です。しかし、パーキンソン病などの慢性疾患では、患者さんが医師の指示通りに服薬できていないことが海外の研究からわかっています。 この研究では、健康保険、国民健康保険および後期高齢者医療制度に保管された患者さんの治療に関する情報を利用して、日本のパーキンソン病の患者さんにおけるアドヒアランスの実態を解析することを目的としています。パーキンソン病の患者さんが、処方された治療薬がなくなるころに来院しているかどうかを見ることが、治療に対するアドヒアランスを解析します。この研究によって、アドヒアランスが高い治療の特徴が分かれば、よりよいパーキンソン病の治療につながることを期待されます。
個人情報の取扱い	本研究で取扱う情報は、専門の事業者により名前、住所など患者さんを直接特定できる情報が削除されており、患者さんを特定するための情報（対応表）はその事業者により厳重に保管されています。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。

	なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	エーザイ株式会社メディカル本部ニューロロジー部 こえびす 古戎道典 112-8088 東京都文京区小石川 4-6-10